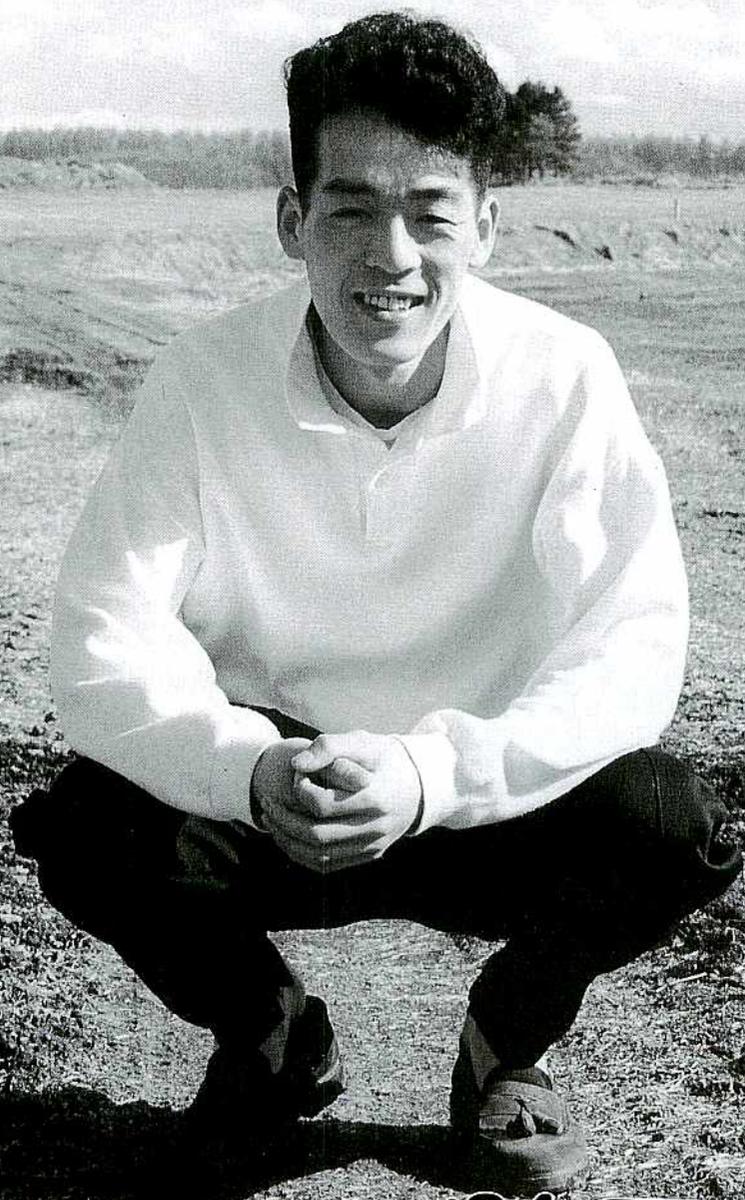


# のうきよう まがしづ



'94

5

No. 233

# のうきょう ちがいつ

陽春を迎えるが、  
武佐岳にはまだ沢山の残雪が。  
白と緑のコントラストは何とも美しい。

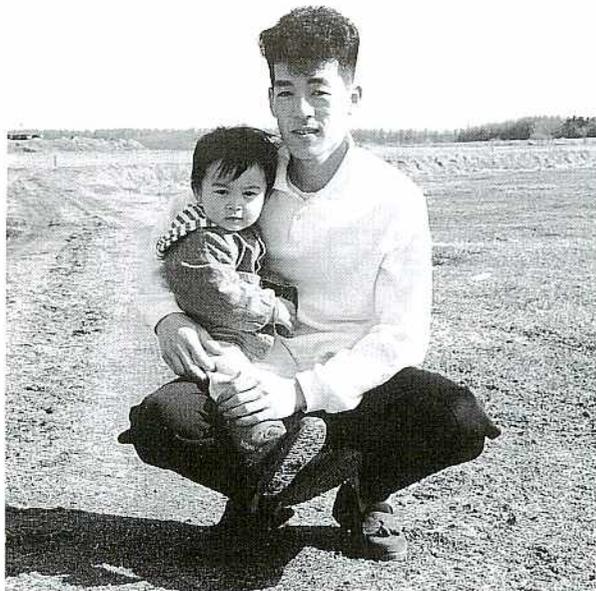


## もくじ

- 3 ——— 〈シリーズ〉  
未来を担う若者  
古沢信義さん(27歳)
- 4~5 — 第47回中標津町農協通常総会
- 6 ——— 当幌開基70周年記念式典開催される
- 7 ——— 〈営農技術〉  
分娩後の管理と繁殖の関係
- 8 ——— 〈わが家の人気者〉  
牛舎は楽しい遊び場  
井口捺美ちゃん(2歳)
- 9 ——— 〈組合長日誌〉  
平成5年度を振り返り
- 10 ——— 第46回農協青年部通常総会
- 11 ——— 第41回農協婦人部通常総会
- 12 ——— 第34回中標津B & Wショー開催
- 13 ——— 共同経営のメリットを求め  
俣落酪農同志会視察研修
- 14 ——— 新婚さんこんには
- 16 ——— 中標津町農協農業後継者結婚  
対策協議会設立される
- 17 ——— 理事会の経過
- 18~19 — 〈暮らしの知恵袋〉  
すっきりした環境で心豊かな  
暮らしを!!
- 20~21 — 今月のフォトアルバム
- 22 ——— 4月の組合日誌

# あす 未来を 担う若者

協和古沢 信義さん(27歳)



長男・奈緒くんも1歳6カ月「家族のためにもがんばるぞ」と信義さん

協和地区の古沢琴牧場は、50haの草地に乳牛百五十八頭を飼養し、年間六百四十トンの牛乳を生産する中標津でも規模の大きい酪農専業農家です。

ここで古沢家四代目の農業後継者となる信義さんは、「祖先に顔向けの出来るような経営を行なって

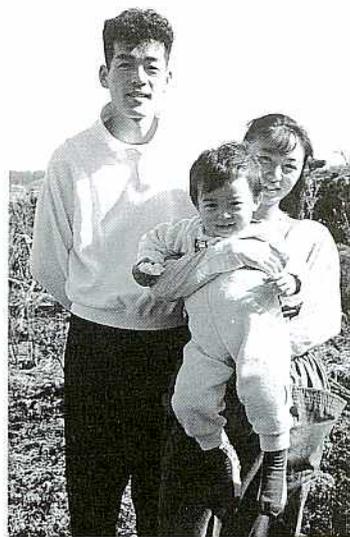
## 遊びの出来る生活を大切に

行きたい」と農業者として向かう決意を話す。

小学校三年までは地元協和小学校に通い、学校が廃校と同時に中標津小学校、中学校へと、高校は中標津の商業科を卒業する。「自分は三人兄弟の一番下だったせいも、農業を継ごうなんて少しも考えていなかった」というが、卒業後、家業を手伝ううちに農業への魅力が少しづつ感じ取っていたようだ。

平成三年九月に佳江さ

効率の良い  
生産を目指す



常にゆとりのある暮らし、生活をと!

んと結婚、これを契機に自分に対する責任感、農業者としての決心がさらに固まったと言う。経営に対する方向性を考えたのもこの頃で、スタンション六十頭牛舎に牛の入れ替えて七十五頭の搾乳夏は育成、経産牛とも放牧体形を取っていたのでまだいいが、冬場

一月に成牛舎を、これと同時にパラーシシステムも導入した。成牛舎は既存施設を有効利用し改造した。また、畜産環境整備を考えるうえでも、今問題になっている堆肥処理について、スラリーセパレーター(糞尿分離機)を導入。

になると百二十頭の牛が舎飼いになり、労働時間は夏場の倍に増える。この状況では飼養管理が複雑化し労働過重、時間的なゆとりもなくなる。そこでふみ切ったのはフリーストール牛舎への移行。ま

今後については、経営内容の充実に向けたコスト低減化と収益の増を重点的に考え、牛に負担のかからない能力の維持と疾病予防に努め、効率の良い生産を目指して行きたいと話す。しかし「働くばかりが能じゃない、ゆとりある暮らし、遊びの出来る生活をつくって

ず平成三年十二月に育成舎をフリーストール化、続いて平成五年十

行きたい」とも話す信義さんです。

# 2000年を目指し、農協経営の強化と 「豊かな農村生活の実現」に向けて

## 中標津町農協第47回通常総会



### 第47回 通常総会 開催

中標津町農業協同組合第四十七回通常総会が、去る四月三十日中標津町トーヨー・グランドホテルにおいて、正組合員二百十九人（本人出席百七十一人、代理人四十八人）出席のもとに開催されました。

午前十時三十五分、佐野参事が開会を宣言、三友組合長より開会の挨拶があり、平成五年度の事業概要と、平成六年度の取組の基本的な考え方について述べられました。

米資祝辞については、根室支庁・後藤農業振興部長・新出中標津町長、系統を代表して、北農中央会中標津支所・鈴木支所長の各氏から頂戴いたしました。

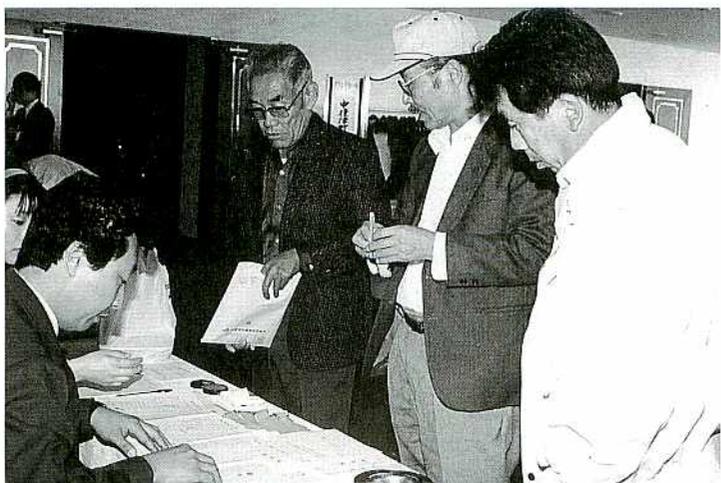
議長には、第二俣落地区の佐藤載康氏が推薦で選任され、議事に



当日は予想もしない大雪で駐車場係も大変でした

概要と、平成六年度における取組の基本的な考え方について述べられました。

米資祝辞については、根室支庁・後藤農業振興部長・新出中標津町長、系統を代表して、北農中央会中標津支所・鈴木支所長の各氏か



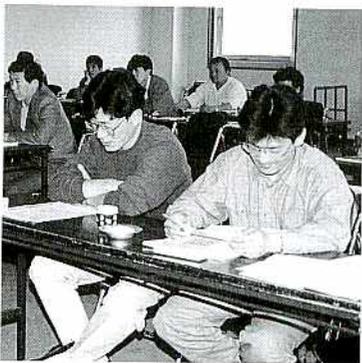
会場前では一人ひとり受付が行なわれます

# 青色申告会、勉強会 節税の ポイントは？

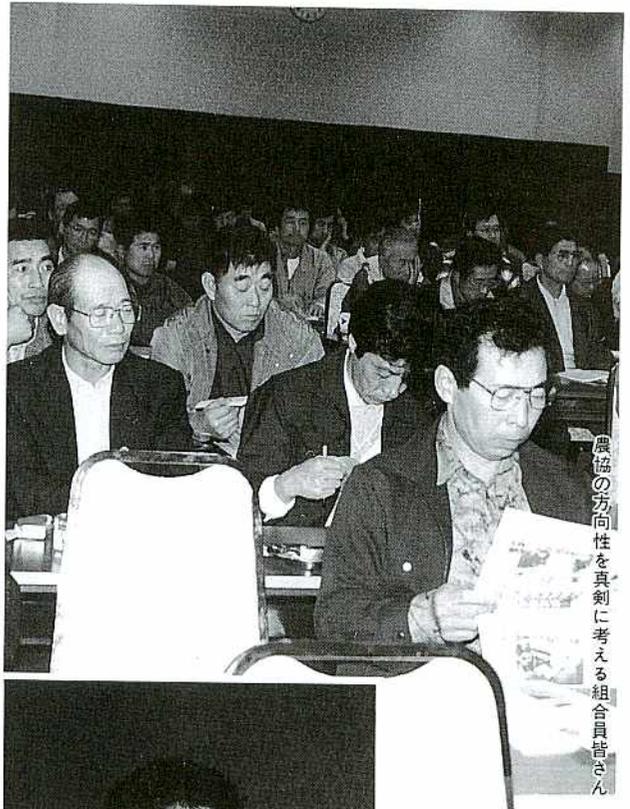


青色申告会は定期総会終了後、町内の会計事務所より永田昇税理士を講師に招き、所得税の青色申告勉強会を開催しました。

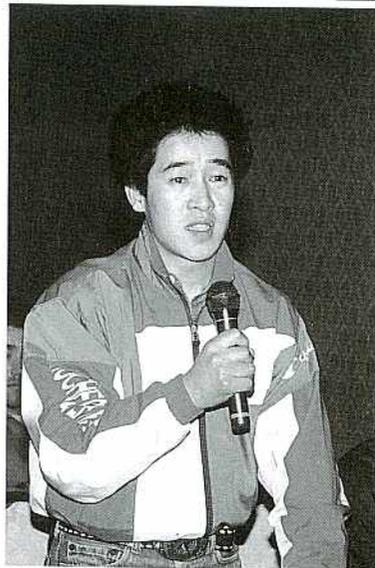
勉強会では、青申の特典、申告における留意点、節税のポイント特に専従者給与、現金出納帳、生命保険、消費税につき重点的に講習を行いました。また、質疑応答では、会員より具体的な質問が多く、講師より解りやすく解説を頂き、大変有意義な勉強会でありました。



是非、今後の申告において役立てて行きたいものです。



農協の方向性を真剣に考える組合員皆さん



多数の方々から意見、要望が出されました

入りました。平成五年度事業報告、平成六年度事業計画(案)のほか、農協法の改正に伴う定款、規約、規程などの一部変更について、全て原案通り可決決定されました。

質疑応答では、総合病院などの質問、組助の分析数値に対する要望、協同会社であるなかしべつフーズ(株)に対する状況と、今後の基本的な考え方についての質問、農業者年金の推進についての要望、高品質乳についてのご質問、役員定数に対するご意見、シストセンチュウ対策についての要望、土地資産評価のご質問など、数多くのご意見、ご要望に対して、それぞれ三友組合長、佐野参事から答弁がなされ、全議事を終了し、三友組合長より閉会挨拶の後、午後二時四十分閉会いたしました。

開拓の先駆者が当幌地区に入植してから70年を迎えるに当たり、当幌開基70周年記念式典が、4月29日当幌研修会館で開催され、地域住民をはじめ、関係機関約120人が出席し、先人の苦勞をしのぶとともに今後の地域発展を誓い合いました。

# へまい進 豊かな酪農郷づくり

当幌開基70周年  
記念式典開催さ  
れる

- ミルクの溢れる里  
当幌乳量9,000t
- 長寿を祝う会



歌や踊りと地域みんなが参加



ピカピカの新生1年生により改修された記念の除幕が行なわれました

当幌地区は、大正十三年に第一陣が入植、厳しい気象条件と度重なる冷害凶作に穀物を主体とした農業から主畜農業へと転換、昭和三十七年の第一次構造改善事業を始め、機械化により急速に規模拡大へと進んだ。全盛期には、二百人を超える児童を有した学校もあったが、その学校も廃校、合理化による支所、国鉄線の廃止など急速な過疎化を経て、現在の酪農地帯を形成している。

昭和五十三年には、開基五十五年記念事業と併せ、地域総乳量四千五百トン突破記念で記念碑を建立、以来十五年を経過した今年、七十周年を機に「当幌開拓の碑」を改修、また、平成五年度出荷乳量が九千トンを突破した記念も併せて式典の開催となったもの。

記念碑の除幕式では、今年新生一年生に入学した飯島千恵さん、奥田恭平くん、吉田貴行くんら三人の手で除幕が行なわれ、記念行事協賛会・奥田勝佳会長から、「この碑には先人の思いや当幌の歴史が刻まれている。厳しい酪農状況ではあるが、先輩の意志を受け継いで豊かな酪農郷の実現に向けがんばっ

ていただきたい」とあいさつ。また当幌連合会・竹村満夫会長は、「この意志を引き継ぎ、当幌を守って行きたい」と述べた。続いて会館内で記念式典が開かれ、亡き先人に黙とうをした後、奥田会長から「経営の担い手はほとんど二代目、三代目に移行し、新しい感覚で平成不況を乗り切るべく意欲的に取り組んでいる。この七十周年を機に部落の飛躍の年にしたい」とあいさつ。また、来賓で出席された新出實町長と徳田康二議長から「中標津は酪農がなくては成り立たない、この七十周年を機に色々な努力、工夫をされ今後さらなる地域の発展を願う」と祝辞が述べられた。続いて開拓功労者十五人、特別功労者八人が表彰され、祝賀会では、現在の基礎を築いたお年寄りに感謝の労をねぎらう長寿を祝う会も開かれ、歌や踊りなど地域一体の中で式典を祝い合いました。

また、記念事業では、開基七十年記念誌に変えて、地域の映像を後世に残す記念ビデオの作成も行ない、編集後配布される事となっております。

# 分娩前後の管理 と繁殖の関係

一目では理解しづらい収益性というものがああります。現金として即イメージできにくいのですが、年間通して考えると大きな損失をうけているような部分です。繁殖成績というのもその部類で、牛乳の生産性に大きな影響を及ぼしています。発情発見の見落としを少なくするのは言うまでもありませんが、乾乳期、泌乳前期の管理と大きくかわりがあります。

## 乾乳期の影響

乾乳期の管理は分娩後の代謝病に大きな影響を与えています。子宮内膜炎などの繁殖障害、発情の遅れにも関係しています。

乾乳期に胎児、胎膜、子宮、乳腺の発達に栄養が必要なためです。また、卵胞の発達も乾乳期の栄養

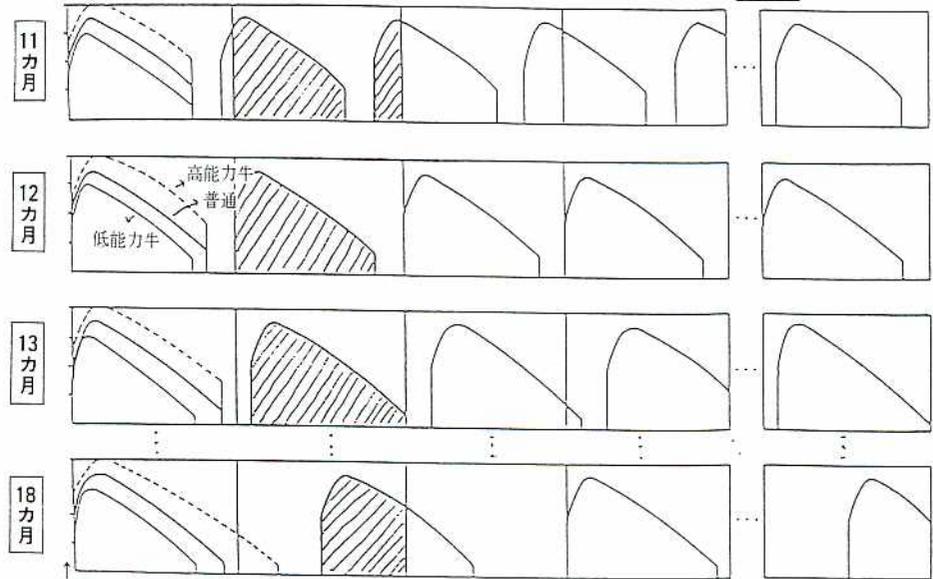
状態に左右され、分娩後の受胎成績に影響すると言われています。低栄養状態や過肥を避けるような乾乳牛管理が望まれます。

## 泌乳初期の影響

泌乳期の乳牛は、乳腺組織へ送る栄養を優先させ、繁殖へは後回しになるといわれています。また泌乳前期は食い込みの関係で量に限度があり、体脂肪を消費しながら乳生産を行なっているのです。ここでも繁殖へのエネルギーが不足する要因となります。

過剰な蛋白は血中尿素値を高くし、これが精子、卵子、発育中の胎児に毒として働き繁殖性を低下させるといわれます。またこのような状態は牛がやせてしまいます。繁殖管理は多くの要因がかかわ

図1、年間搾乳日数と乳量に及ぼす分娩間隔の影響 ※まず1つが1年間 部分が年間乳量



南根室地区農業改良普及所セミナー資料より

### 乾乳牛の栄養の利用目的

- 1、生体維持
- 2、胎児の成長
- 3、増体
- 4、ボディコンディションの維持

93年スニフェンセミナーより

### 泌乳牛の栄養の優先順位

- 1、生体維持
- 2、泌乳
- 3、妊娠
- 4、成長または増体
- 5、ボディコンディションの維持
- 6、繁殖周期

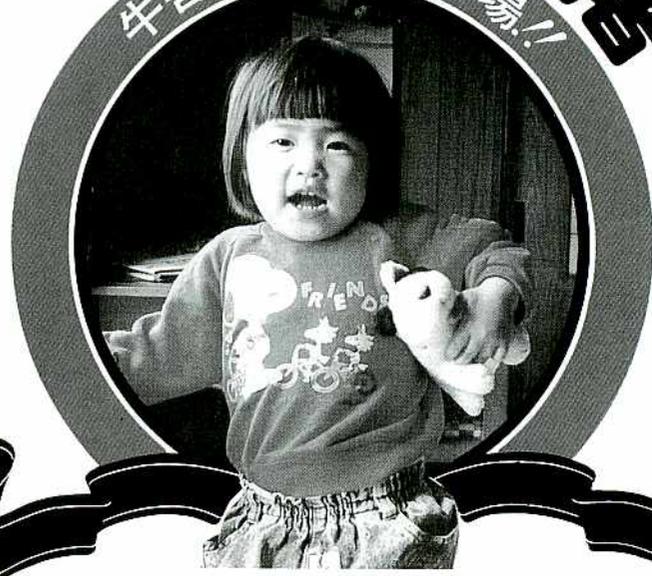
93年スニフェンセミナーより

っているので、総合的にとり組む必要があります。その時点で問題はなくとも、後で問題がおこらな

期栄養管理もその一部ではあります。大切なポイントでもあります。

# わが家の人気場

牛舎は楽しい遊び場!!



新生地区 井口則一・豊美さんご夫妻

長女 <sup>なつみ</sup> 捺美ちゃん(2歳)

井口家三人兄弟の末っ子なつちゃんこと捺美ちゃん。二人のお兄ちゃんに比べ、一番気が強く、やんちゃな面があると話すお父さん。好奇心旺盛なお年頃のなつちゃんの最近の口ぐせは「なんでえ?」。ちよつと疑問に思うことがあるとつい出てきちゃう言葉のようです。大人のする

事やお兄ちゃん達のする事にはとても敏感。「どこかへ出かける時なんか、もう大変」と笑うお母さん。お兄ちゃん達が学校へ行く時も、脱走して追いかけて行っちゃう事もあるそうで、家族みんな、なつちゃんの元気ぶりにはハラハラ。



牛だけじゃなく、動物はなんでも好きな、なつちゃん

とにかく今は、牛舎に行く事が大好きで、もちろんお手伝いもバツチリできます。「食べてねえ」と牛に声をかけながら、配合をあげるといってお兄ちゃん。自分の体の何倍もある牛を目の前にしても、全然平気だと話すお父さんも、「牛の鼻先まで顔を近づけたりする姿を見ると、親の方が心配で」とのこと。親の心、子知らずといったところですね。

「そば!!」と言いながら走り回る姿は、本当に元気一杯。

たまにいたずらなんかもしちゃうおちやめさんだけど、今年の誕生日を迎えたら保育園に通い始め、友達がたくさんできる事を楽しみにしているなつちゃんでした。



お気に入りのぬいぐるみを持って散歩



ちよつとはずかしいけどピース!

# 平成五年度を振り返って

季節はずれの大雪で足元の悪い中、多数の組合員の皆様のご出席をいただき、第四十七回農協通常総会が開催されました。誌上をお借りして改めてお礼申し上げます。

平成五年度を振り返って見ますと、景気低迷の長期化と冷夏の影響を大きく受けた年でした。飲用乳は前年比一・七％減、バター在庫は期末で七・二カ月分です。生乳の計画生産が一層強化され、下方修正が行なわれましたが、組合員の方々の理解と協力によって一〇〇％が達成されました。乳量は前年比九・一％の八万六千八百五トでした。個体価格では初生トクが昨年より値上がりしましたが、乳牛、老廃牛の低落が大きく、農家収入の減収になりました。

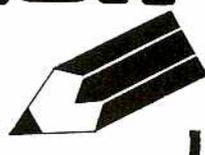
畑作物では八月中旬頃まで低温日照不足でしたが、秋口の天候の回復により馬鈴しょ、ビート共に平年作となりました。

農家経営をとりまく状況が良くない中において、組勘は貸し残三億七千八百万、預り残二億円の結果となり、この数年間で一番良い

●今月のたより……

## 組合長日誌

代表理事 組合長  
三友 盛行



現象に直面していることと無縁ではありません。需要と供給の拡大は常に等しくなく、アンバランスを生みやすいものです。今はそのバランスをとるための調整期間のようです。ピルの階段には必ず踊り場があるように、踊り場では登

ってきた疲れを癒やし、力をため、次のステップに備える場所です。農家経営も個々には色々なケースもあるうかと思いますが、総体としてはこの時期、内部強化に努めるのも大事な方策でしょう。その具体的な表われが経済不況下における組勘の好成績なのでしょう。

農協経営の収支は景気低迷、生産調整、冷害、個体の低落の中で当期利益金二千六百二十六万四千七百五十円をもって決算を終えることが出来ました。誠に有難うございました。

## 平成六年度に向けて

平成六年度では、ガット合意後を見通し、二〇〇〇年をめざして農家、農協経営の強化と、生産、生活環境の整備を課題として取り組んで行きたいと願っています。

保証原料乳価格は七十五円七十五銭と一円の値上がりですが、三円が加算され、手取り価格は昨年並みとなり、限度数量は五万ト減で二百三十万トとなりました。また昨年引き続き生産調整が一層強化され、全道枠では前年目標数量比九七・五％の三百二十一万トが設定されました。地区別、単協数量は新チーズ制度への対応が決ま

る六月頃に決まるようです。

いずれにしても枠の決定次第、組合員の皆様とよく検討の上、計画生産をよりスムーズに行ないたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

農協の第三次地域振興計画のメインテーマは、「豊かな農村生活」の実現です。入植以来の労苦の結晶である今日の生産力を、いかに豊かな生活実現のために用いるかが大事な視点です。生活環境の整備のために、大きな第一歩を踏みだしてみませんか。ヘルパーの一人増員、後継者対策協議会の設立、婦人の海外研修、実習生受け入れの強化等々と、今年は計画を樹立しました。積極的な利用をお願い致します。生活環境の充実が、生産をも確実に支えることになると思っています。また、総会で多くの論議がされました、なかしべつフーズについては別に機会を設けることになりました。より多くの組合員の出席を得てフーズの今後についての検討を予定しています。

本年度も多くの課題のある中で、役員一同一層の努力を期しておりますので、宜しく願い申し上げます。

第四十六回中標津町農協青年部  
通常総会が四月十二日、農協大会  
議室で開催され、上程された全議  
案が承認されました。

開会にあたり笠原部長が、「昨年  
は冷夏、ガット合意など何を取っ  
ても私たち農業者にとって良かつ  
た事はなかったように思うが、私  
たち青年部は何事にも前向きに活  
動を行なって来た。今後も自分  
自身を育てて行く組織として、自分  
がやりやすく、また皆  
んながやりやすい組織  
を作って行ってほしい」と  
挨拶。

続いて、農協三友盛  
行組合長、新出實中標  
津町長、金子安一地区  
農青協副会長、横田純  
子婦人部長、商工会青  
年部・伊勢博和部長の  
来賓の方から祝辞が述  
べられ、この中で三友  
組合長は、「若い世代に  
は色々な事がある、そ  
れを乗り越えて、困難

事業の方向性を考える

## 建設的な意見 が多数です

第46回 農協青年部通常総会



定刻10時に開会され、本人出席も過半数をこえた総会となりました

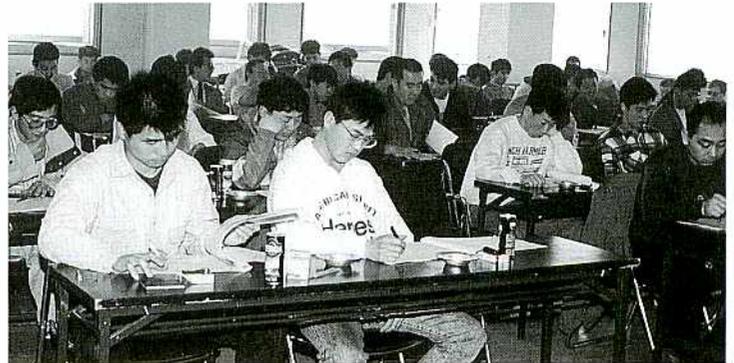
を青春の目標として頑張っていた  
だきたい」と話されました。  
その後、出席五十九人の中から  
依橋支部の西崎敬造氏が議長に選  
任され、平成五年度事業報告、平  
成六年度事業計画案など、提出さ  
れた全議案全てが原案通り承認さ  
れました。

質疑の中では、伯爵バターキャ  
ンペーンの内容、消費拡大事業の  
あり方、部員数減にともなう支部  
と本部事業の今後の方向性など、  
さまざまな建設的な意見が出され、  
これに対し飯島浩新部長から、「新  
三役としては、これからの事業展  
開については、青年部OBや農協理  
事者などをメンバーに、事業検討  
委員会などを設けて考えていきたい」  
との応答がなされました。

また、議長退任後、四十歳表彰  
が行なわれ、中標津支部・長渕重  
樹氏の力強い万歳三唱で、午後十  
二時五分閉会いたしました。

〈平成六年度役員〉

部 長 飯島 浩(当幌支部)  
副部長 佐藤 敏(中標津支部)  
会 計 高橋 敏行(中標津支部)  
高橋 正一(武佐支部)



これからの青年部の方向性を真剣に検討しました

監 事 山下 真二(依橋支部)  
" 斉藤 和宏(開陽支部)  
幹 事 菊池 仁(当幌支部)  
" 岩井 淳一(俣落支部)  
" 真野 幸一(武佐支部)  
" 佐藤 康彦(第二俣落支部)  
" 上ヶ島利春(俣落支部)  
〈四十歳表彰者〉  
長渕 重樹(中標津支部)  
藤井美智夫(第二俣落支部)

# より充実した活動を 展開していった

第41回中標津町農協  
婦人部通常総会

平成六年四月二日(土)、  
農協大会議室において婦人部通  
常総会が開催されました。

横田部長の「厳しい酪農状勢の  
中、お母ちゃんパワーで明るく乗  
り切っていきましょう」との力強  
い挨拶で始まりました。

来賓の方から挨拶をいただき、  
議長に藤田登美子さん、白田寿美  
江さんが指名され、議事が進めら  
れました。

議案第一号、平成五年度事業報  
告並びに収支決算について

議案第二号、平成六年度事業計  
画並びに収支予算案について

議案第三号、支部活動助成金に  
ついて

議案第四号、役員任期につい  
て

議案第一号、二号については満  
場の拍手で承認されました。議案



第三号、支部活動助成金について  
は、本部活動の充実を図るために  
廃止され、議案第四号の役員任期  
については、現行通り一年間と  
いうことで承認されました。

役員改選について、平成六年  
度新役員は以下の通りとなりまし  
た。

部長 横田 純子  
(第二俣落) 再任

副部長 井口伊津子  
(南武佐) 新任

会計 中條 幸子  
(依橋) 新任

(西武佐) 新任

監事 竹下 定子

(第二俣落) 新任

秋山 祝子

(共栄) 新任

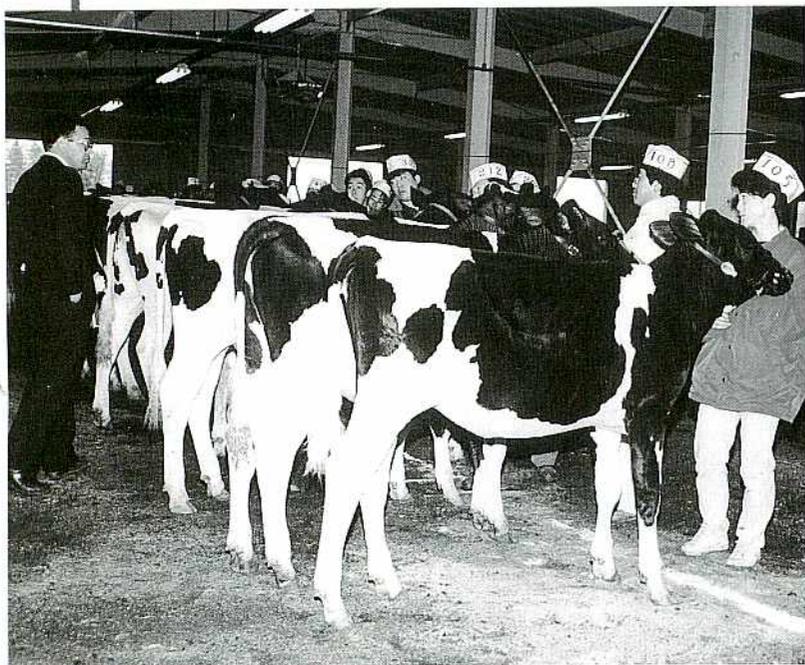
議事終了後、農業指導士に認定  
された横田純子さんと、前事務局  
の池田めぐみさんに婦人部から花  
束を贈呈し、無事終了いたしました。



さわやかな声で婦人部の歌唱

# 春一番のショウに注目

第34回  
中標津B&W  
ショウ開催



能力、体形の優美さを競い合うB&Wショウ



さわやかデリークイーンの藤原さんと加藤さん



審査を努めた松浦氏

中標津乳牛改良同志会主催（彈正原正会長）による、中標津B&Wショウが四月二十四日ホクレン家畜市場を会場に開催されました。当日は、雨天により会場を屋内に移しての審査となりましたが、一部から十部まで六十九頭が出品されました。また、管内的にも春一番のショウとして注目を呼び、同志会会員はもとより関係団体、他地区からも沢山の観客が詰めかけました。審査員には松浦栄氏（J・H・B・S）があたり、スピーディーさとの確な審査で次々と序列付けされて行きました。

また、観客にも勉強の場をと、第七部ではジャッキングコンテストも行なわれ、出品者、観客と一体となった有意義なショウとなりました。

なお、組合長杯（ジュニアチャンピオン）には山崎幸雄氏出品のミルフィード ラッシー エクセレス号、町長杯（シニアチャンピオン）には福嶋信一氏出品のハッピーランド バリアン マットマリイ号が獲得しました。

各部位上位入賞牛は次の通りです。

部等	名	号	出品者	賞
1	1	エクセルシア アストロ ガーネット	久保 剛	
2	1	ミルフィード ラッシー エクセレス	山崎 幸雄	J RC
3	1	タイロー クリストファー ホープ	川村 尊之	
4	1	バリエント クリスチナ ハノーバー イーティ	花川 稔	
5	1	ミルフィード ラッシー マット	山崎 幸雄	J C
6	1	ハッピーランド エクセレント セレナ イーティ	福村 稔	RC,BU
7	1	ハッピーランド ファンシー クリンス	福嶋 信博	B U
8	1	ハッピーランド バリエント マットマリイ	福嶋 信一	GC,BU
9	1	ロックミラー ポリー ネッド	土井上昭男	B U
10	1	ローヤル レデル インスピレーション	久保 剛	



# 共同経営のメリットを求め

俣落酪農同志会視察研修—— 俣落 広瀬 清寿

四月九日、十日に釧路方面の農場などを視察して参りました。参加者は、各関係機関も含めて十八人でした。

まず鶴居農協の営農集団づくりについて説明を受け、鶴居にある九集団のうち一番大きな(十八戸)下雪裡トラクター利用組合を視察致しました。酪農の近代化と農業所得の増大を図る事を目的として鶴居農協では、昭和三十九年から第一次構造改善事業が進められたが、組合員全体には平等ではなく、全体の水準を上げる事は出来なかつた。その大きな要因としては、組合員の生産性を上げるための機械経費が経営の総売上げの三割以上も関係していることにあり、この機械化貧乏を防ぐための共同利用が昭和四十三年より進められた。現在では経営総売上げの一割ほどしかかからなくなっているそうです。また、専任オペレーターがお

り、集団内労働力の配分が可能で、農業後継者のいない老人経営なども相互扶助によって営農がなされています。専任オペレーターの熟練度の向上から修理費の軽減、耐用年数の延長が図られ効率が良く、共同作業により均質なサイレージ調整が出来るそうです。また組合員は一台もトラクターを持たず、サイレージ給餌の際には利用組合



鶴居下雪裡トラクター利用組合



仁成ファームパーラー

まで来てタイムカードにて利用し、冬場の除雪などについても、専任オペレーターが牛乳集荷に合わせに行なっているそうです。

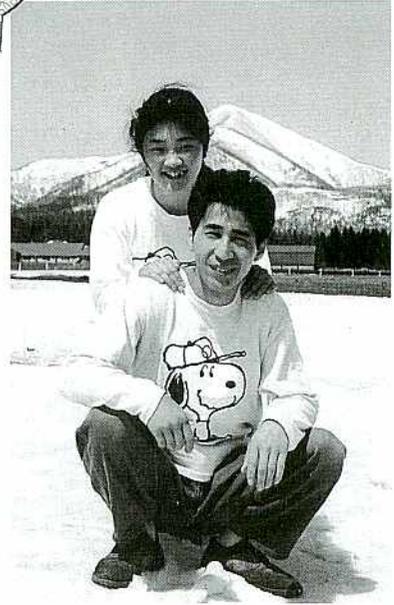
その後、釧路西港にあるホクレンくみあい飼料工場を視察し、次の日に阿寒町にある三戸共同経営の仁成ファームを視察しました。

ここは以前共同経営になる前に当同志会で視察しており、将来的に現在の規模では営農は困難で、また個人で新たに再投資するには、労力的にも資本も足りないと言っていた牧場でした。その頃から肉複合経営を取り入れ、出荷乳量が二百五十ト程の牧場でした。これらの事を平成三年に検討し、将来への経営の安定と体質強化を目指し法人化したそうです。現在の出荷乳量は一千二百ト強で一戸当たり四百ト、今年度は一千三百トが目標だが、この乳量では収支が困難であるため肉牛(九州阿蘇)と提携して褐毛を生産)と野菜を生産している。法人化し投資した事業はフリーストールパーラー、飼料調整室、育成舎(フリーストール)、機械一式、乳牛百八十五頭で総事業費一億二千万円位だそうです。

確かに負債は増えたが、以前は先が見えずまっ暗だったが、共同経営にふみ込み労力的にも余裕が出来、家族が明るくなり毎日の作業が楽しくなったとの事でした。関係機関のご協力により有意義な視察研修が出来、ありがとうございました。

中塚 広文<sup>あ</sup>さん(24歳)  
吾希<sup>あ</sup>さん(24歳)  
旧姓大山

西武佐、中塚文夫さんの後継者



おみやげの  
指輪が  
プロポーズ

平成六年三月  
十二日、児玉  
光彦様ご夫妻の  
ご媒約により中塚

広文さん、吾希さんの結婚祝賀会  
が行なわれ、新生活のスタートを  
切りました。二人は高校の同級生  
で、一年生の時に行なわれた宿泊  
研修で友だちに紹介され知り合い、  
その後、卒業まで同じクラスだっ  
たという。高校卒業後、広文さん  
は農業後継者として家業へ、吾希  
さんは中標津のイズヤバリ(パン  
屋)へ就職しましたが、お互いの交  
際は続き、休日には二人でドライブ  
に行ったり飲みに行ったりです。  
そんな交際が数年続いた平成三  
年七月、広文さんは、農協が実施

したヨーロッパ視察研修に  
参加、その時指輪を吾希さ  
んに土産としてプレゼント。  
これが広文さんから吾希さ  
んへのプロポーズとなった  
ようです。新婚旅行は常夏  
の島バリ島へ、ビーチでウ  
ニを踏んで足を怪我したり、  
プールでおぼれたり、ハ  
プニングの続出だったそう  
です。

「搾乳のミルクカー付けも  
出来るようになり、これか  
ら色々な仕事を覚えて行き  
たい」と吾希さん、  
また、「楽しい家族に  
なってくれれば」と広文さん  
は話しておりました。

## 新婚さんこんにちは

楽しい家庭に！  
明家庭に！

松田 隆<sup>さん</sup>(30歳)  
むつ子<sup>さん</sup>(19歳)  
旧姓小森  
北武佐、松田征二さんの後継者



去る四月十六日、篠永鉄雄様ご  
夫妻のご媒約により松田隆さん、  
むつ子さん(旧姓小森)が結婚、新  
生活のスタートを切りました。

二人は武佐で生まれ、地域の  
盆踊りや学校の運動会など  
でお互い幼い頃から顔は知  
っていたというが、実際に  
つき合い出したのは二年前。  
むつ子さんが高校を卒業後、  
農協給油所でアルバイトを  
していた時に、隆さんが車  
のガソリンを入れに行った。  
その時給油をしたのがむつ  
子さんで、お互い「どっか

で見た人だな」と思ったそうで  
す。

それから二人はバレーボールや  
スキーに行ったりと、つき合いが  
始まったとの事です。

「明るい家庭にしたい」と隆さ  
ん、むつ子さんは「つねにおちゃら  
けのある夫婦に」と幸せいっぱい  
の二人。

新婚旅行はハワイへ、天気も良  
く楽しい思い出を沢山つくって来  
たそうです。

これから馬鈴しょ、ビートの作  
付で忙しくなりますが、「がんばる  
ぞい」と張り切っていました。

# 北海道の93年度販売乳量は330万トン

九三年度生乳販売数量は三百三十万一千百五トン、前年比一・〇%減となったが、用途別販売乳量は加工原料乳認定数量が二百十五万二千一トン、一・三%減、チーズ向けが二十六万六千八百八十七トン、六・四%増、飲用向けが六十一万九千二百八十八トン、三・一%減、生クリーム等向け二十六万五千七百六十九トン、〇・八%減となった。

販売乳量は、計画目標超過分の四千三百二トンを飼料用全粉に処理して計画目標に収めた。加工原料乳は限度数量を二十七万三千五百四十六トン超過、限度数量超過は二年連続で、超過量は昨年の二十五万一千七百二十六トンを上回り過去最高となった。飲用向けは道内仕向けが十五万一千八百四十四トン、二・七%増だが、道外仕向けは四十一万四千九百九十三トンで三・八%減、学給向け二万三千四百六十四トン、四・五%減、発酵乳等向け二万八千八百五十八トン、一七・四%減。道外仕向けの減少は生乳移出量が二十七万二千四百七十二トン、一・九%減が影響しているほか、製品移出も大手メーカーを中心に減少した。

バルク乳体細胞・細菌数検査結果(4～3月累計) 単位: %

		体細胞 (30万以下)	細菌数 (10万以下)
5年度実績	当農協	86.4	99.3
	根室管内	87.3	99.0
4年度実績	当農協	86.2	99.4
	根室管内	86.2	99.1

〈93年度販売乳量〉

加工等	2,416,208	99.5
認定数量	2,150,021	98.7
チーズ向	266,187	106.4
飲用等	619,128	96.9
生クリーム	265,769	99.2
合計	3,301,105	99.0

平成5年度生乳受託実績

		4～3月累計実績				
		受託数量(kg)	前年比	FAT %	SNF %	円 総乳代単価
5年度実績	当農協	86,804,996	99.1	3.98	8.60	79.20
	根室管内	651,228,833	98.7	3.94	8.58	78.72
	全道	3,300,472,040	99.0	3.88	8.60	78.28
4年度実績	当農協	87,578,428	109.0	3.93	8.62	79.72
	根室管内	659,788,933	107.3	3.89	8.60	79.23
	全道	3,332,997,411	105.9	3.85	8.63	78.96

# 緑の牧場へ お嫁において

中標津町農協農業後継者  
結婚対策協議会設立される



農業後継者の結婚については、全国的にも問題になっており、安定的な経営をするには、早く伴侶を見つけなければなりません。地域農業基盤の確立、組合員減少の防止のうえでも、後継者結婚問題は急務となっております。

現在、中標津町農協の組合員、三百十三戸の内七十五戸の後継者が独身という状態です。

今までは、町の後継者対策協議

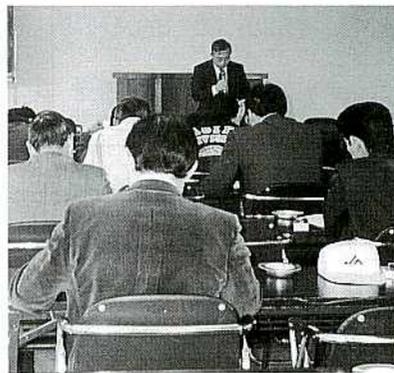
会が主体となり活動を進めてきましたが、なかなか実のある成果が得られず、独身者の高齢化は顕著なものとなってきています。

中標津町農協では、農業後継者結婚対策協議会を設立し、この問題に取り組む事になりました。今回の呼びかけに三十三戸の組合員が加入し、わが家の問題をはやく解決しようということになり、四月二十二日、中標津町農協会議室において、農業後継者結婚対策協議会設立総会が開催されました。

三友組合長より協議会設立の主旨説明と、「本人や家族が積極的な行動を起こせるように応援しよう、農作業などが忙しいからといって、この問題を後回しにする事無く取り組まなければならない。また、実習生受入協議会、青年部、婦人部など関係機関との連携を取りながら進める」などの挨拶の後、中標津町農業委員会・長渕貞義会長より、「本会に対する期待、成功と発展を祈念する」との祝辞がありました。

総会では、協議会の規約、結婚相談員の設置規則、協議会役員、活動方針、入会金及び会費などを決め活動内容としては、伴侶となる候

補者や出合いの場の確保、本人、家族の意識の向上と受入体制の整備をしようということになりました。参加者からは、「女性が酪農を体験することにより、酪農のイメージアップをしながら後継者との出合いの場を確保しよう。結婚後の生



活設計をどうするのかなど、家族で話し合い会話のある家庭作りをしたり、結婚の障害が何なのか勉強しなければならぬ。また、「本人や家族の希望は何なのか、意識調査もした方が良い」などの意見がだされました。しかしながら、本人や家族がこのような会に積極的に参加しなければならぬ。なので、会員の参加を強く願います。また、組合員の皆様の情報

の提供やご協力が、本会の成功へのカギとなりますのでよろしくお願ひします。

## 〈活動内容〉

- 一、地方ふるさと会などでの情報取捨と協力体制の確保と整備
- 二、各種イベントの開催とマスコミの活用による人集め
- 三、異業種間との交流による出合いの場の設定
- 四、家族を含めた中での生活環境の改善
- 五、専任相談員の設置による恒常的活動推進
- 六、実習生受入協力農家制度の設定
- 七、本人、家族の啓蒙普及に関する学習会、研修会の開催

## 〈本会役員〉

会長	三友 盛行
副会長	上村 重光
幹事	杉本 匡視
幹事	斉藤 哲雄
幹事	長縄 弘
幹事	岩井 昇
幹事	石橋喜美夫
監事	白田 慶和
監事	丹羽 賢一
相談員	佐藤 載康
相談員	佐藤 拓

# 理事会

## の経過

### 第一回理事会

開催日時 平成六年四月十五日

開催場所 中標津町農協中会議室

#### 〈議案〉

一、第四十七回通常総会開催日程と提出議案について

二、定款の一部変更について

三、規約の一部変更について

四、内国為替取引規程の廃止並びに信用事業規程の制定について

五、農業経営規程の制定について

六、貸付金の最高限度の決定について

七、貸付金利率の最高限度決定について

八、生活店舗課、酪農課車両リース更新契約について

九、固定資産の処分について

#### 〈協議事項〉

一、総会議案説明懇談会の日程に

事業を推進してまいりますのでよろしく願います。

なお、集荷業務をより効率化するため、次の事項にご協力下さいますようお願い致します。

○哺育向け初生牝の申し込み

現行 月・火・木・金曜日受付

○極力月・木曜日に申し込み下さい。

○屠場畜の申し込み

現行 月・金曜日受付

○極力前日に申し込み下さい。

〈家畜集荷車両〉 四ヶ家畜専用車

今後はより一層巡回などに努め、

## 畜牛集荷業務の一部業者委託

畜産販売課では、四月一日から畜牛の集荷業務の一部を中標津運輸(株)に委託し、集荷業務の効率化を図ることになりました。

011 4015



ついて

二、総会前役員協議会開催日時について

三、役員報酬審議会の答申について

四、司法行政書士会の野立看板設置許可について

## 税 知っておきたい 税の知識

### 自動車税の納期限は

5月31日です

納期内納税にご協力下さい。

納めていただく方

四月一日現在で、陸運支局に登録されている自動車の所有者です。

なお、ローンで購入した場合などで所有権が売り主にあるときは、買い主である使用者です。

納めていただく時期

納期は五月三十一日(火)までです。納税通知書は五月十二日頃に送付します。忘れずに納期内に納めましょう。

口座振替

道税も電話料金や水道料金と同じように、口座振替で納めることができます。申し込みは簡単、手続きは一度だけです。

納税証明書

納税通知書に添付されている納税証明書は、車検を受けるときに必要ですので、車検証と一緒に大切に保管しましょう。

# 暮らしの

## 知恵森



北根室地区農業改良普及所

長かった冬もようやくやく終わり、さわやかな春がやってきました。

周囲を覆っていた雪も溶け、家や牛舎の周りの環境も気になり始めたころではないでしょうか。あらためて、周りを見渡してみて下さい。

「環境整備をしましょう」と思っている、時間やお金、そして人手がない…という事で、なかなか腰があげられないようです。しかし、環境整備のもつ意味を考え、環境への見方、取り組み方がわかってくると思います。そこで、今回は環境整備への取

り組み方のポイントを考えてみました。

### 一、環境整備のポイント

環境整備はただ「きれい」にするということではなく、様々な事を総合的に進めていかななくてはなりません。

#### ①「安全」でしょうか

私たちが安心して生活していくためには、安全な環境の整備が必要です。特に生活と生産の環境が密接であれば、多くの心くばりが必要で

子供が安全に遊び回れる、お年寄りが安心して暮らせる環境、ま

た、生産においてもより安全に作業ができるように環境を整えていくことが大切です。

#### ②「衛生的」でしょうか

衛生的であるということも大切です。環境の整備は健康の管理にもつながります。

また、生産環境では「牛乳」という生鮮食品を扱っていることで衛生へは十分の配慮が必要です。

#### ③「効率的」でしょうか

物があちこちに置いてあり、いざというときに作業が思うようにいかないという経験はありませんか。整理整頓してあれば、どこに何があるかがわかり、(他者にばかり整理してもらおうとわからなくなります)が、効率的に作業がはかどります。

#### ④いつも「気持ちよく、心豊かに」

整理整頓のいきとどいた処理室さっぱりとした外回り、きれいに掃除がしてある住宅…。そのような環境での暮らし、作業はとも楽しく感じられるものです。

また「心のゆとり」が重要視されてきている現代において、農村の自然豊かな環境はとても注目さ

れてきています。そのようなことから、地域の特質にあった環境整備が大切です。

二、どこから始めればいいのかろう…?

まずは、片付けから始めましょう。住宅、牛舎、そしてその周りの環境を見渡して、本当に必要なものが、適当な場所に、使いやすく収められているかどうか点検してみて下さい。物の置き場所をきちんと決める、いらぬものは捨てる、捨てられない物は一方所にまとめておく、など一つひとつ整理していくことによってだいた環境がよくなるでしょう。

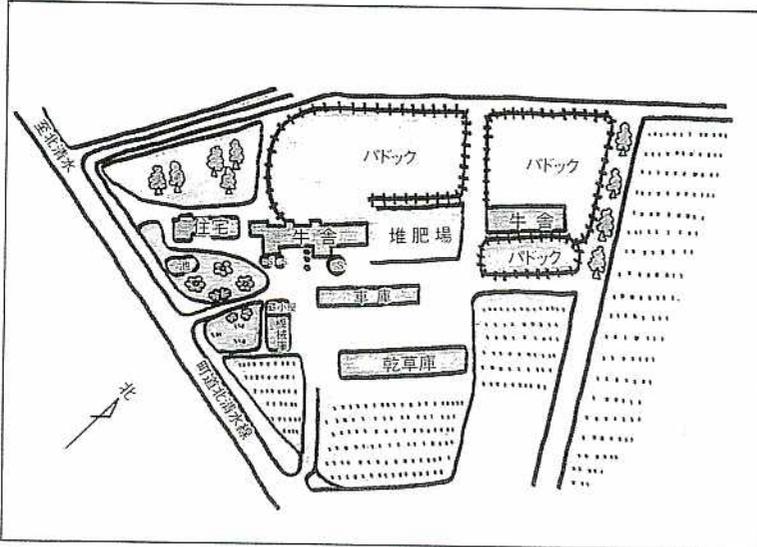
また、一人ではなかなかできないものも家族の協力、仕事の分担によって苦にならずにおこなえます。

お金、時間、人手がかかる環境の整備(建物の建設、芝生など)については、しっかりとした計画を立て、また、できあがりのイメージを持つことが必要です。

心豊かに、生きいきと暮らすために一人ひとりが環境への意識を高め、よりよい環境を築いていきましょう。

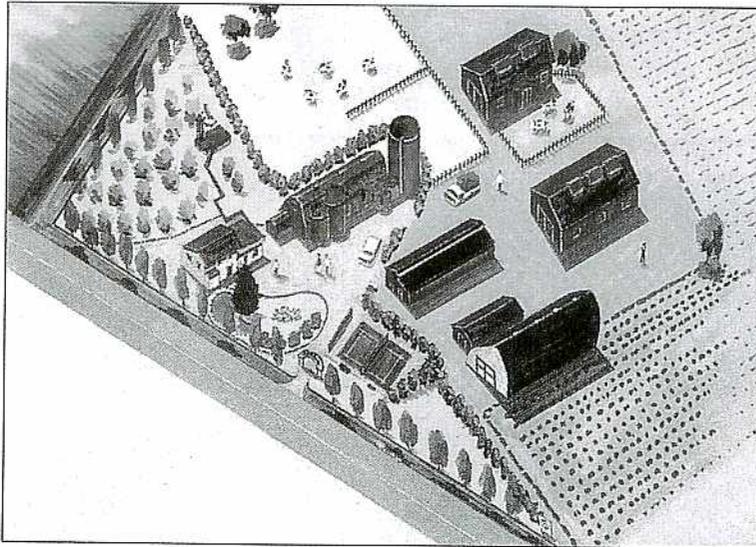
〈イメージの例〉

〈現況図〉



- 庭木が密集して狭い。
- 交流の場が狭い。
- 池、レンガ積み牛舎  
バドックの山を活かしたい。

〈将来をイメージしたイラスト〉



- 庭木の整理をし、池の前のオンコをシンボルツリーとする。
- 池は親水性をもたせ、防火用水としても考えられる。
- 生産道と生活道路を分離する。
- レンガ積みのきれいな牛舎を活かし、ゲストハウスとして使用する。
- 使用しないサイロは物見台に利用。
- 景色の良いところへサンデッキを作りゲタばきで行けるようにする。

平成五年度共計でん粉の販売状況は、三月末仮配分累計一袋当り一千二百二十五円（前年同期一千四百七十五円）と前年より二百五十円、単価による進捗率は前年対比八三・一％と前年同期を下廻っております。また、価格は産地倉渡し二千八百七十五円～三千三百二十五円（前年同期三千百円～三千三百二十五円）、東京倉渡し三千七十五円～三千五百二十五円（前年同期三千三百円～三千五百二十五円）となっております。

なお馬鈴しよでん粉と競合するコーンスターチは、前年同期と同じ一千九百五十円となっております。

共計でん粉





## 馬鈴しょ農家作付け準備始まる

武佐岳もまだ真っ白な雪でおおわれ、平野部でも防風林のまわりには残雪、今年の融雪は昨年より遅いようです。そんな中でも、馬鈴しょ作付農家では、貯蔵庫からの種子馬鈴しょの取り出しや、いも切り作業が盛んに行なわれています。東武佐の三栄農場では、4月25日からいも切り作業が始まり、出面さん約10人ほどがイモの芽数に合わせ、手際良く作業が進められていました。今年はイモの腐れも少ないとの事で、植え付けめざし着々と準備が進められています。



手慣れた手つきで作業も早い

# フ ォ ト ア ル ブ ム



## 楽しく、 活発な活動を 目指して

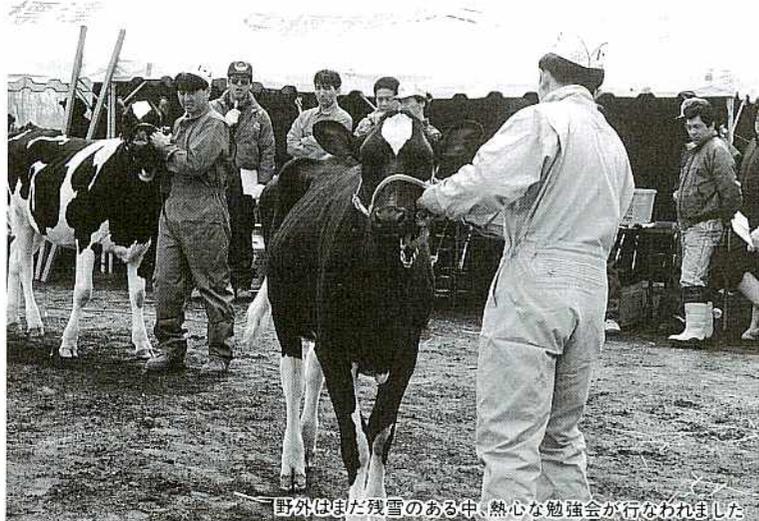
フレッシュミセスの集い

4月27日(水)、今年度の活動計画と交流を図るため、フレッシュミセスの集いが開催されました。午前10時半からウコウボウルにて、ボーリング大会が開かれ、参加者12人が楽しくさわやかな汗をかいて交流を深めました。

午後から場所をレストラン・キンコに移し、昼食をとりながら今年度の活動へ向けて活発な意見が交されました。恒例の日帰り旅行、みんなでプールへ行こう会、おやつ講習会など、「たくさんの部員と楽しく活動」を目指して動き始めたフレッシュ部員でした。



ナイススタイル、これは絶対ストライク?



野外はまだ残雪のある中、熱心な勉強会が行なわれました

## 機能的、 経済的な 乳牛を求めて

乳牛改良同志会  
バーンミーティング

乳牛改良同志会主催による、乳牛審査講習会（バーンミーティング）が4月19日、開陽地区・吾妻牧場で開催されました。この講習会は乳牛改良の基礎知識習得や審査技術の向上、会員相互の親睦を目的とし、当日は会員など約70人が参加し行なわれました。審査員には、同会の佐々木昭雄氏、福村稔氏が当たり、未經産、経産牛、各2部門16頭について審査されると共に、各支部の会員も審査、講評を行ないお互い勉強の場となったようです。また、婦人の方々による豚汁、甘酒やコーヒーの心温まるサービスもあり、有意義な春の1日となりました。ジャッジング成績は次の通り

1位 工藤賢司 (111点) 2位 富沢 貢 (111点)  
3位 国光達男 (108点)



地域婦人の方も一役、おいしい豚汁を作ってくれました

## 巧みな話しに引き込まれ

中標津落語を聴く会の主催による、第9回なかしべつ寄席が4月23日、ホテル秀月で開催され町内外から約200人の寄席ファンが詰めかけ、会場いっぱいになり笑いが広がっていました。

今回は、なかしべつ寄席でお馴染みの入船亭扇遊師匠を始め、柱南喬師匠を迎えての真打2人会が行なわれ、身ぶり手ぶりのたくみな話しに会場のファンもぐいぐい引き込まれていました。



硫黄山のゆで卵がおいしかったと南喬師匠



会場は終始笑いが広がっていました



お馴染みの扇遊師匠

## 4月の 組合日誌

- 2日 第41回婦人部通常総会
- 4日 決算棚卸実地精査
- 7日 第1回役員協議会
- 8日 酪農ヘルパー役員会
- 11日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 12日 第46回青年部通常総会
- 15日 第1回理事会
- 18日～21日 決算監査
- 21日 第4回青色申告会総会、講習会
- 22日 中標津町農協後継者対策協議会設立総会
- 25日 働なかしべつフーズ懇談会
- 26日～27日 地区別懇談会
- 26日 和牛振興会総会
- 27日 後継者結婚対策協議会役員会
- 28日 生食馬鈴しょ部会設立総会
- 28日 第2回役員協議会
- 30日 第47回中標津町農協通常総会

### 編集後記

春を待ち望む気持ちと裏腹に季節はずれの大雪や、冷たい雨続きで作付作業がずいぶん遅れ、いらだちを感じる組合員さんも多い事と思いますが、自然というもの、なかなか人間の思う通りにならないものですね。こんな時こそ農作業は慎重に!!焦ってむりをすると機械を壊したり、人間の体調までもこわれ、終わる作業が逆に残ってしまう事になりかねませんヨ。健康管理、農作業にはくれぐれもご注意を!!

### 転入のあいさつ



北根室地区農業改良普及所  
寺見 裕

隣町の標茶からやって来ました。若かりし頃、何度も訪れた当地にて、酪農の夢とゆとりの実現のために頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

### 鈴木 康義

(十勝中部地区農業改良普及所)

昭和61年、当地で新規採用され、以降8年間の長い間、数多くの経験と、色々な中標津酪農を見せて頂き、ありがとうございました。

### 転出の あいさつ

## 農業者年金の支給日が 変更になりました

農業委員会から  
お知らせ

農業者年金の支給日は、各月の10日となっており、10日が土、日曜日または休日に当たる場合は、次の日の平日に繰り下げて支給されていましたが、受給者サービスの向上を図るため、本年4月から前の日の平日に繰り上げて支給されることになりましたのでお知らせします。

## 農協業務時間変更のお知らせ

農協の業務時間が、5月2日から10月31日まで次のように変わります。

- 事務所 平日、午後8時30分～午後5時  
土曜日、午前8時30分～正午
- 生産資材店舗 平日、事務所に同じ  
土曜日、午前8時30分～午後5時
- 貯金 平日、午前9時～午後3時
- A T M 平日、午前8時45分～午後6時  
土曜日 午前9時～午後2時
- 生活店舗 午前9時30分～午後6時30分  
祭日も営業いたします。
- 農協前給油所 午前8時30分～午後6時30分
- 桜ヶ丘給油所 午前8時～午後7時30分  
桜ヶ丘給油所については祭日も営業いたします。